

## 他部会の審議状況について

### 宮城県行政評価委員会大規模事業評価部会の審議状況について

- 1 審議対象事業 総合教育センター（仮称）及び通信制独立校（仮称）整備事業  
（教育庁教職員課所管：名取市下増田地区）

- 2 事業概要

障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が共に学ぶ教育の推進等，時代の進展に適切に対応するよう教育研修センターと特殊教育センターを総合教育センターとして統合するとともに、現施設では狭隘で適切な教育環境の提供が困難である仙台第一高等学校通信制課程を通信制独立校として合わせて名取市下増田臨空土地区画整理事業地内に一体的に整備しようとするもの。

- （1）敷地面積 28,000㎡
- （2）建物延べ床面積 22,204㎡（鉄筋コンクリート造5階建程度）
- （3）事業費 初期建設費 7,594百万円  
（うち用地取得費 1,295百万円）

- 3 審議状況

- （1）第1回部会 8月30日(火) 諮問，評価内容の概要説明，調査審議
- （2）第2回部会 10月4日(火) 調査審議
- （3）第3回部会 10月31日(月) 答申案の取りまとめ
- （4）答申 11月10日(木)

- 4 答申概要

事業を実施することは妥当と認める。

ただし，評価書を作成するに当たっては，下記に掲げる事項について更に検討を行い，その結果を同書面に適切に反映させることを求める。

- （1）今後の具体的な施設の設計にあたっては，教育研修センター，特殊教育センター及び通信制独立校を合築することによる機能の総合化，効率化等のメリットが生じるよう配慮すること。
- （2）鉄道駅及び空港に至近の利便性の高い立地に鑑み，単に教職員等関係者のみの利用だけでなく，広く一般県民に開かれた施設としての活用方法を検討すること。
- （3）県として名取市下増田臨空土地区画整理事業地内の公共施設用地に本件施設を整備することに決定した理由，決定までの経緯等について，より詳しく記述し，政策決定に至るプロセスを明らかにすること。
- （4）教育研修センター及び特殊教育センターの跡地利用について，本件事業と一体のものとして早急に有効活用策を検討すること。

## 宮城県行政評価委員会公共事業評価部会の審議状況について

### 1 審議対象事業 再評価14事業(うち再々評価2事業)

### 2 審議状況

- (1) 第1回部会 6月23日(木) 諮問, 評価内容の概要説明, 調査審議(6事業)
- (2) 第2回部会 7月15日(金) 評価内容の概要説明, 調査審議(8事業)
- (3) 現地調査 7月29日(金)
- (4) 第3回部会 8月8日(月) 調査審議
- (5) 第4回部会 8月25日(木) 調査審議
- (6) 第5回部会 9月1日(木) 調査審議
- (7) 第6回部会 10月7日(金) 答申案の取りまとめ
- (8) 答申 10月14日(金) 森杉部会長から答申

### 3 答申概要

#### (1) 「事業継続」として県の評価を妥当とした事業

小田川統合河川整備(総合流域防災)事業  
井内の3 急傾斜地崩壊対策事業  
折立 地すべり対策事業  
国道113号 館矢間道路改良事業  
一般県道中新田三本木線 下新田道路改良事業  
一般県道くりこま高原停車場伊豆沼線 多賀道路改良事業  
主要地方道亘理村田線 海老穴道路改良事業  
主要地方道築館登米線 新田道路改良事業  
仙台塩釜港海岸高潮対策事業  
北上川下流東部流域下水道事業  
かんがい排水事業 牛橋地区  
湛水防除事業 前川地区  
経営体育成基盤整備事業 中田南部地区  
経営体育成基盤整備事業 河南2期地区

(以上14事業)

#### (2) 事業の実施に関して部会で出された意見

審議対象事業の実施に関する意見

##### ア 小田川統合河川整備(総合流域防災)事業

橋梁架け替えに関しては, 農地整備計画などの社会情勢の変化に対応して, 橋梁の統廃合も含め検討する場を設けるとともに, 住民に十分説明すること。

##### イ 国道113号 館矢間道路改良事業

事業完了後も供用される丸森橋については, 通行規制の検討を含む適切な維持管理に努めること。

##### ウ かんがい排水事業 牛橋地区

栽培面積の増加が計画されているイチゴ栽培について, 作付体系等に基づいた営農収益が上がるよう, 営農活動の適切な指導に努めること。

受益地区には町事業として計画されている公共下水道事業と重複する区域があるので, コスト縮減に向けた町との事業間の連携や調整を引き続き進めること。

今後の事業の実施に関する意見

##### ア 下水道事業

事業費の変動が懸念される場合には, 事業費の変動を想定した代替案の比較検討を行うこと。

##### イ 農業農村整備事業

経営体育成基盤整備事業の意義をより明らかにするためには, 担い手育成や農地集積など複合化されて発現する効果の要因を分析することが望ましい。